

平成25年度 第2回 芦別市子ども・子育て会議 議事録

【開催日時】

平成26年3月28日（金） 18:00～19:40

【開催場所】

子どもセンターつばさ 2階会議室

【出席者】

(1) 出席委員（委員一覧順）（7名）

宮田委員、須藤委員、橋本委員、木村委員、木下委員、村上委員、小野委員

(2) 株ぎょうせい（3名）

(3) 担当所管（7名）

市民福祉部 稲場部長

児童課 本村課長、工藤係長、小松園長、高橋園長、星川係長、佐藤係長

【配布資料】

資料1-1 基本指針の概要（案）

資料1-2 基本指針の主な記載事項（計画作成指針関係）

資料2 子ども・子育て支援に係る芦別市の現状について

資料3 子ども・子育て支援に関するアンケート調査について

参考資料1 次世代育成支援対策推進法の概要

別冊 芦別市次世代育成支援行動後期計画（平成22年度～26年度）

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 子ども・子育て支援に係る芦別市の現状について （資料2参照）
- (2) 子ども・子育て支援に関するアンケート調査について（資料3参照）
- (3) 子ども・子育て支援事業計画について （資料1-1参照、資料1-2参照）
- (4) 次世代育成支援対策推進法の概要について （参考資料1参照）

※ 質疑応答なし

(5) その他

委 員 今後の計画策定については、アンケートの結果を見ながらどのように進めて行くのか。ひな型があってアンケートを比べての作業になり、計画の原案となるのか。

担当所管 庁内検討委員会において、計画の素案作りを行い、子ども・子育て会議にかけて、計画の原案となる。

委 員 ひな型を見ながら判断するのか。

担当所管 芦別市の現状と課題を洗い出し、アンケート調査に着目し、保護者からの意見を重点的に押えて、充実していくには行政として施設の建設

が必要なのか、民間の受け皿が必要なのか何ができるのかを考えて、現状と課題を重点的に踏まえ目標を立てて行くことが必要と考えています。また、計画策定については、担当所管・庁内検討委員会で他市の取組状況を見ながら素案作りを行い、その計画策定について、方向性を見極めていくのが、委員の方々であります。今回のアンケート調査の自由記述において、保護者の本音が出ていて、いろいろな意見が書かれています。どのように手助けをしていくか。本音の部分を手助けしながら次回につなげていきたいと考えています。

3. その他（委員の方々からの感想）

- 委員 完全に理解するには、時間がかかる。小児科・産婦人科がないのは、決定打である。近隣にある理解であることを理解してもらおう。アンケートは、ジェレネーションギャップを感じるアンケートだった。
- 委員 今日何をしたらいいか目標が見えなかったが、説明を聞いて方向性がある程度わかった。自由記述は、芦別市に合うものができたら素晴らしい。
- 委員 ベビーシッターの事件を見ながら、24時間365日保育園に預けなければいけない事は無理なので、どうフォローをするのか。また、アンケートで子育てしている親は、どこかにつながりを求めている。子どももそうだが、親の相談する場所があった方がいい。
- 委員 保育所の待機児童は、都会の問題で芦別市には関係ないが、アンケートを最大限にいかして、計画策定に活用していきたい。来年度から、芦別小学校に常磐小学校、上芦別小学校に野花南小学校と西芦別小学校が統廃合した時に、留守家庭児童会（すみれ・ひばり児童会）の児童の中には遠隔地の児童もいることから、迎えに行く時間が遅くなる場合もあるので、考慮してほしい。
- 委員 アンケートの中で、上芦別保育園の5歳児が一名は、同じ子どもを預かる側として、大切な子どもが同年齢とのつながりがないのではないか。縦のつながりも大事だが、集団の中で学ぶ、たくさんの同年齢がいる環境が大切ではないか。今後、市内で一名だけだったら仕方ないと思いますが、全ての子ども達が集団生活をできる状況になれば良いと思う。
- 委員 アンケートを見て、自分が子育てをしていた時代と違い心のケアが大変である事がわかった。親同士のコミュニケーションを図るような事を行政にやってもらいたい。

4. 閉会